

# フジベトンによる 「ため池・ヘドロ」など軟弱地盤の固化

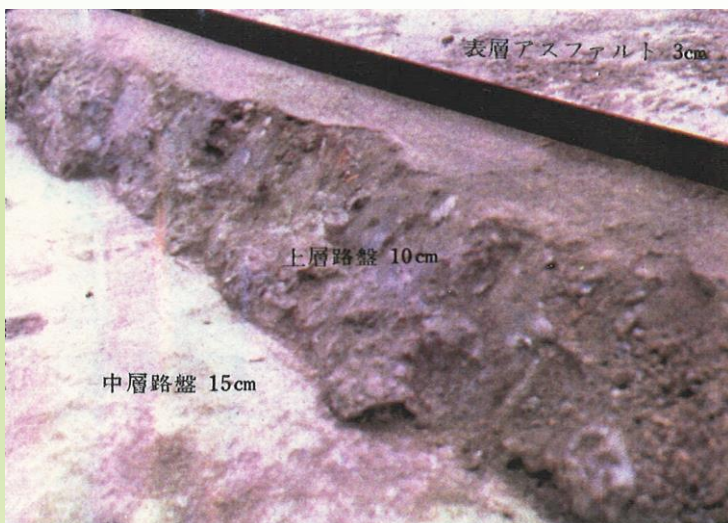
## 1.強度の増進

フジベトンには保水性が優れているので、セメント硬化時の収縮亀裂等の防止があり、水さえあればセメントは長期にわたって強度が増進し、安定します。

テストケースでは、

施工当初	圧縮強さ	3000	kN/m <sup>2</sup>
3年後	圧縮強さ	10000	kN/m <sup>2</sup>

と時間の経過とともに強度が増進しております。



断面写真



## 2.強度の安定

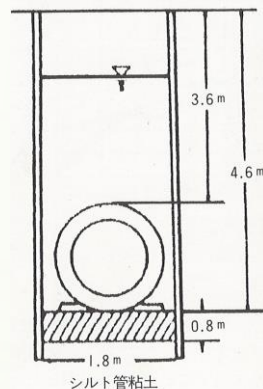
強度が長期に渡って安定することから、石油やガスなどのパイプの敷設工事などでは特に役立ちます。



### 2-1 不等沈下防止基礎

不等沈下防止の基礎として、フジベトンの安定処理層が役立ちます。

過去において、摩擦抗によって支持した時には、不等沈下が約15cm発生しましたが、フジベトン安定処理層の基礎の場合には、僅か3cmでした。



### 2-2 処理後1ヵ月の違い



1ヶ月後には他工法のもは処理前と同様になった。

※安定化処理には、100件以上の実績がございます。

出典：藤増次郎「お茶の水博士の発明人生」